

<69> 指揮者のために。「ゆりの花」の調べにのせて。ダビデによる。

69:1 神よ私をお救いください。水が喉にまで入って来ました。

69:2 私は深い泥沼に沈み足がかりもありません。私は大水の底に陥り奔流が私を押し流しています。

69:3 私は叫んで疲れ果て喉は渇き目も衰え果てました。私の神を待ちわびて。

69:4 ゆえなく私を憎む者は私の髪の毛よりも多く私を滅ぼそうとする者私の敵偽り者は強いのです。私は奪わなかった物さえ返さなければならぬのですか。

69:5 神よあなたは私の愚かさをご存じです。私の数々の罪過はあなたに隠されていません。

69:6 万軍の【神】主よあなたを待ち望む者たちが私のために恥を見ないようにしてください。イスラエルの神よあなたを慕い求める者たちが私のために卑しめられないようにしてください。

69:7 あなたのことで私はそしりを受け恥辱が私の顔をおおっているのです。

69:8 私は自分の兄弟からのけ者にされ母の子らにはよそ者となりました。

69:9 それはあなたの家を思う熱心が私を食い尽くしあなたを嘲る者たちの嘲りが私に降りかかったからです。

69:10 私が断食しわが身を泣き悲しむとそれが私への嘲りのもととなりました。

69:11 私が粗布を自分の衣とすると私は彼らの物笑いの種となりました。

69:12 門に座る者たちは私のうわさ話をし私



は酔いどれの歌になりました。

ダビデは息子アブシャロムの反逆のゆえに苦しめられて、歌ったものです。どれほどの悲しみかと察することができます。このようなときにも、私たちクリスチャンにはすることがあります。それは主に祈り「叫ぶ」ことです。

その中でダビデは自分の犯した罪を忘れることができませんでした。「神よ。あなたは私の愚かさをご存じです。私の数々の罪過はあなたに隠されていません。」と歌うのですが、その時彼は、自分を赦してくださいというのではなく、「あなたを待ち望む者たちが、私のために恥を見ないようにしてください。」と、神の民のために祈っています。

ここに主への悔い改めの実をみることができます。私たちが悔い改めることは色々あるでしょうが、何よりも他の人々のことや主の共同体のことを考えましょう。そこに主からの視点が生まれます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

